

これだけは知っておきたい「外来生物」のはなし

ところで外来生物ってなに？



外来生物というのは、

- ① ……もともとそこにいなくて、
- ② ……人につれてこられたり、人や物にまざってつれてこられたりした、
- ③ 生き物のことだよ。

このうち

- ・自然の中で増えている生き物。
 - ・もともといた生き物たちに、問題を引きおこすおそれのある生き物。
- については、特に心配しているよ。



カミツキガメ

特定外来生物

いつもは水中に生活し、卵を産むときに陸に上がる。最大でこうらの長さが約50センチになる。あごの力が強い。千葉県では印旛沼流域に生息する。北米～南米原産。



アライグマ

特定外来生物

都市から森林まで広く生息し、特に水辺を好む。雑食性で、果物、野菜、魚、エビなど何でも食べる。たくさんの子どもを産むので増える。屋根裏に入ったり、農作物を食べてしまう。千葉県のほぼ全ての市町村で確認。北米原産。

外来生物ってみんな悪いの？



そうとは限らないよ。けど、もともといなかったのに、「何らかの問題がある」と考えられているんだよ。

その問題というのは・・・

1. 生態系への問題
他の生き物を食べる。すみかをうばう。もともといた生き物との間に子どもをつくる。
2. 人体への問題
人を傷つけたり、病気の原因となる。
3. 農林水産業への問題
農作物や魚などを食べてしまう。

日本にいる生き物なら外来生物にならないよね？



これも、そうとは限らないよ。たとえば、

西日本にいるゲンジボタルは2秒に1回光るけど、東日本にいるものは4秒に1回光ることがわかっているんだ。

自分では、遠くへ移動できない生き物は、住んでる場所が違うと、いろいろと違うことがあるんだよ。

これは、地球の長い歴史の中でできてきたものだから、人の手でかき混ぜてしまうのはよくないんだ。

日本にはいたけど、もともとそこにはいなかった生き物のことを「国内外来生物」と言っているんだよ。



特定外来生物

十ガエツル/ゲイトウ

水辺で増えて困っている外来植物。南米原産。水面にマット状に広がり、水の流れを悪くする。ほんの少しのかけらからでも育ち、大きくなる。千葉県では印旛沼流域で増えている。



わたしたちがやくそくできること

宣言

**一度飼いだめた生き物は
野外には放しません。**



千葉県マスコットキャラクター
チーバくん

みんなに人気の外来生物・・・でも自然の中ではみんなの敵です。



アメリカザリガニ
トンボのヤゴや水草など何でも食べる。



ミシシippiaカミミガメ(ミドリガメ)
最大30cmを超え、40年以上生きる。



外国産のクワガタムシの仲間たち
(マンディブラリスフタマタクワガタ)

えっこれも！実はこれらも外来生物・・・千葉県にもたくさんの外来生物がいるんだ。



オカダンゴムシ
小さい子どもたちの最初の遊び相手。



特定外来生物

ウシガエル
アメリカザリガニといっしょに日本に。
ポーポーという、牛のような鳴き声。



イノシシ
千葉県のイノシシは、昔一度ぜつめつしたらしい。だれが放したのだろうか？

最近気になる外来生物・・・国外・国内のいろいろなところから入ってくる。いったい誰が入れたの？



特定外来生物

ウチダザリガニ
平成21年9月に千葉県でも発見。
北米原産。昭和の初めに北海道へ。



特定外来生物

オオキンケイギク
もともとは観賞用。道路ぎわの緑化に
使用されてきた。



特定外来生物

オオフサモ
小さなかけらからでも育つことが
できる。どんどん増えるやっかいもの。

特定外来生物・・・外来生物法で、特に被害が大きいとされた種類。